

市民活動団体

応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。掲載申込みの詳細は、市HPをご覧ください。
☎広報課☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

7月1日号への掲載の申込みは、5月26日(金)までに電子申請

(電子申請がご利用いただけない場合は、申込用紙を広報課 FAX 983・2719)



電子申請はこちら▶

(<https://logoform.jp/form/pqff/143867>)

※「電子申請」からお申込みください。

※掲載基準などの詳細は市ホームページ▶



文化

鈴木直敏・恵子バレエスクール 第35回三島教室発表会

☎5月14日(日)午後3時30分～6時 場市民文化会館・大ホール▶第1部：バレエコンサート▶第2部：「くるみ割り人形」よりお菓子の国^{無料}入場整理券配布、自由席^{無料}三島教室☎972・6585

三島フィルハーモニー管弦楽団 第49回 定期演奏会

☎5月21日(日)開場：午後1時、開演：午後1時30分^場市民文化会館・大ホール▶曲目：ベートーベン ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」、ブラームス 交響曲 第2番 二長調▶指揮：碓山隆一郎さん、ピアノ：五条玲緒さん^費一般：2,000円、学生：1,000円※未就学児入場不可^{代表}・土山☎971・5297

三島ハーモニカメイツ「せせらぎ」 会員募集

☎毎月第1・3水曜日午後1時～3時^場北上文化プラザ^{技術}に応じて指導を行います。また健康面でも呼吸器系を鍛え脳トレにもなります。(見学可)^費月2,000円※入会月^{無料}ハーモニカ演奏に興味のある人^定5人程度^持ハーモニカ「C」、「#C」と譜面立^用・^間三島ハーモニカメイツ「せせらぎ」☎986・3351

三島地区書道連盟 第32回三島地区展

☎5月24日(水)～28日(日)午前9時30分～午後5時※24日は午後1時から、28日は午後4時まで^場生涯学習センター3階・市民ギャラリー^会員の書展、漢字・仮名・少字数・詩文書・前衛などの作品^{無料}三島地区書道連盟事務局・片山☎090・7044・1441

楽しく二胡を弾いてみよう！ 「初めての人集まれー」

二胡は優しく人の声のような音色、弓で弾く弦楽器です。実際に自分の手で持つて音を出してみましょ。☎5月27日(土)、6月10日(土)、18日(日)各午後1時30分～3時^場生涯学習センター5階・音楽室^{無料}中学生以上^定20人^用・^間1週間前までに高橋☎090・3309・6659

スポーツ・健康

平和なる武術、杖道！

杖道は杖と木刀により形稽古を行う古武道です。剣道連盟に所属しているので、剣道と同じように段位を取ることできます。見学体験をお待ちしています。^時毎週▶土曜日午前9時～正午▶日曜日午後5時10分～7時10分^場西小学校^費中学生以下：月300円▶高校生：月500円▶一般：月1,000円^用・^間山形☎972・5670

その他

第9次・21世紀の朝鮮通信使 日韓友情ウォーク

☎①5月18日(水)②19日(金)各午前7時30分^場▶集合：①JR吉原駅南口②三嶋大社境内▶コース：①吉原港公園→三嶋大社(27km)②三嶋大社→箱根湯本駅(26km)^内江戸時代の朝鮮通信使と同様に、韓国の人たちと三島市民とが一緒に旧東海道を歩いて、善隣友好を深める^費各日500円^持弁当、飲み物^間東静歩こう会☎090・7852・7478

きのこマルシェ

☎5月21日(日)午前10時～午後3時^場長谷川園周辺(川原ケ谷)^場三島の有名店が集結し、エリンギ、ヒラタケ、シメジ、ブルーロット(白シメジ)を使ったさまざまな特別メニューの提供、また、キノコの直売など、キノコづくしのイベントです。^間無料^間車は立正佼成会・やすらぎの邸宅の駐車場に駐車可(約80台まで)^間橋内☎090・5030・0741

「七田式」教育 七田厚先生講演会

☎5月28日(日)午後6時～8時^場みしまプラザホテル^子育て・育児の最新教育方法のお話や質問にお答えします。^費2,200円(小学生以下無料、高校生以下半額、LINE割引あり、当日券あり)^子育て世代または教育に関心のある人^用・^間前日までに心音道☎973・8931

静岡県母親大会分科会「気になる食品の安全性、次世代への影響は？」

☎6月18日(日)午後1時30分～3時30分^場生涯学習センター3階・講義室^間講師は農民連食品分析センター所長八田澄人氏です。同センターは輸入小麦を使用した製品から除草剤(グリホサート)の残留を調査し、明らかにしてきました。^費1,000円^定150人^間会場内ではマスク着用^用・^間5月31日(水)までに静岡県母親大会実行委員会三島地域担当・山下☎090・7033・2394

ボーイスカウト三島第5団 スカウト(男女)募集中！

「なろう、一人前に」を合言葉に、心身ともに健全な人材の育成を目的とする世界的な教育運動です。見学・体験参加、また指導者候補など随時受付^時週末月2回程度^場東本町まどろみ公園^費月約2,000円(別途、実費あり)^間6～25歳までの男女※小学校2年生以下は保護者同伴^用・^間鈴木☎090・7439・2325^用info@bsm5.org

歴史の小箱

No.419

勘兵衛が見た山中城(五)

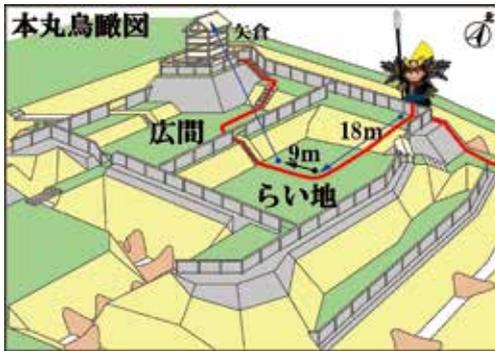
広報みしま3月1日号、勘兵衛が見た山中城(四)の続きで、矢切(塀)の上より西側の本丸内を覗いた後の記述になります。

郷土資料館 (楽寿園内) ☎ 971-8228

楽寿園内の郷土資料館では、特別展「150年後の国宝候補」を4月29日(土・祝)～7月2日(日)まで開催します。

勘兵衛は本丸内に東向きの広間を見て、その前に来る土地(来地)「らい地」に約二百人の敵兵を確認しました。
塀を乗り越え十間(十八m)進むと約五間(九m)ほど敵と戦闘しながら進みます。次第に「らい地」にいた兵も上段の広間へ撤退します。

ここで勘兵衛は戌亥(北西)の角にある山中城の最高標高地点の「段」(高台)と矢倉(物見台)について次のように記述しています。「五・六間四方に高さ二間あまり。其の上にはいさき矢倉相ひ見へ申し候。」つまり高さ三・六mの「段」の上に、九m×十・八m四方の平坦地があり、小さな物見台が建っていたと記述しています。



▲本丸鳥瞰図



▶勘兵衛の記述範囲

本丸の一番高い平坦地といっても山中城には「天守閣」はありません。

戦国期の関東地域のお城は、天守櫓や石垣すら無いのが一般的です。土木技術の粋を集めて、土の造形だけで火縄銃に対応して守り抜く構造でした。

実はここが一番重要な部分で、後に戦闘が繰り返された大

坂城には後北条氏の技術である障子堀(しょうじぼり)が取り入れられ、守りに秀逸な構造は他国でも採用されたことが分かっています。

天守閣のあるお城は、平和な江戸時代には一国一城しか築城できないため、贅を尽くして造られました。戦闘の行われなかつた城は、防備は完璧でしたが、容姿は大きく派手になり実戦の行われぬ支配の象徴となつていきました。

山中城の最後は、二百人の兵がすべて矢倉に上がり、上と下で槍の叩き合いが行われ、やがて半数の百人ほどになります。大将と名乗る者が二人(城将と副将か)名乗りを上げ、首をうたれます。続けて矢倉には四方より豊臣方が攻め上がり、櫓は角堀に崩れ落ち終戦となります。勘兵衛の記録はこの後も続き、後続の部隊の到着時間の記録や、小田原攻めの準備を西ノ丸で行おうと進言します。

(次回の「勘兵衛が見た山中城」は8月1日号で掲載予定)
※本文章は正式報告とは異なり、現時点では説にとどまります。

わたしのおじいちゃん

当番 いたみ こはるさん

私のおじいちゃんは、とても優しく、農業と植物が大好きです。そして、面白いです。

おじいちゃんは、家庭菜園で採れた野菜や果物をごちそうしてくれます。私が魚介類が好きなことをおじいちゃんには知っているの、よく買ってきてくれます。私がおじいちゃんの家泊まる時も夜まで仕事をしています。土日でもそうです。おじいちゃん、働き者です。私もおじいちゃんみたいになりたいです。

おじいちゃんには、これから長生きして、元気でいてほしいです。



伊丹 心春(6年)
伊丹 英人(64才)